

自然学習講座

テーマ：水元公園の鳴く虫観察会

日時：令和5年11月11日(土) 10時から12時まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：30人(親子)

申込開始：令和5年10月5日(木)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和5年10月12日(木)まで電話で受付し、応募者より抽選。



水元公園の静かな夜に響く虫の鳴き声に耳を澄ませ、その生態を観察します。

※小学生以下の方は、保護者の方と一緒にご参加ください。
 ※野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
 ※お持ちであれば、懐中電灯をご持参ください。

イベント・ガイドウォーク

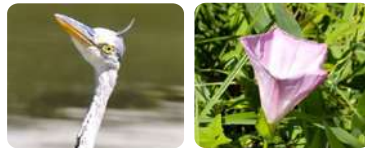
水元公園ふれあいフェスティバル 11月3日(金・祝)

水元小合溜周辺の生きものの生体展示や、生きものに関するクイズなどを行います。会場は水元公園グリーンプラザ周辺。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
 2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

| | | |
|-------------------------|---|--------------------------------|
| ■ 交通 京成バス | 水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口→水元公園→金町駅南口 | 金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口 (金61系統) |
| バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。 | 水元かわせみの里下車 徒歩1分 | 水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分 |

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



フクロ



Facebook



Twitter

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和5年 9月20日
 (通算第198号)



水元小合溜の生きもの:188

ハイロゲンゴロウ

コウチュウ目ゲンゴロウ科

体長 9.8~16.5mm

時期 一年中

身近なゲンゴロウの仲間

ゲンゴロウの仲間は水中でくらす甲虫の一種です。絶滅を危惧されている種類も多いですが、ハイロゲンゴロウは、時には小さな池やプールなどにも現れる、身近なゲンゴロウです。



○オールのような後肢
 この肢で水をかき、水中を素早く動き回ります。

○おしりに酸素ポンプ
 お尻に空気の玉をくっつけることで、水中でも呼吸ができます。

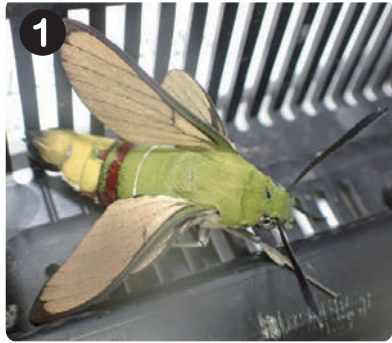
ちょっと変わったゲンゴロウ

本種は水中を高速で動き回る機動性に加え、水面から直接飛び立つことができ、他のゲンゴロウに比べて高い移動能力を持っています。それが、ハイロゲンゴロウが身近に見られる理由なのかもしれません。



発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



9/2 オオスカシバ ハチの様に飛ぶかの仲間。羽化直後は翅に鱗粉があるが、飛び立つと鱗粉が落ち、透明になる。



9/10 ツククサ 一日一花で、花は朝～夕方まで咲く。ハエやアブなどの仲間が花粉や花蜜を求めて飛来する。



9/10 ヤマトシジミ シジミチョウの一種で、水元公園全域の草地や生垣などで小さな花を求めて飛びまわっている。



9/13 フヨウ 花は10～15cm程度と大きく目立つ。花は朝方に開花し、日が落ちる頃にはしぼむ。



9/5 アオサギ 水辺のふれあいルームの前の岩場によく訪れる。フナの仲間などが大きな魚を捕らえて食べる。



9/5 ヒルガオ 花は主に午前中に開花して、夕方にかけてしぼむ。花卉の奥には花蜜を求めてハチやアブなどが訪れる。



9/13 サルスベリ 漢字では『百日紅』と書き、花は初夏～秋と長期間に渡って開花する。



9/13 アカサシガメ アカメガシワの葉の裏で、ソウムシの仲間の腹部に太い口吻を突き刺し、体液を吸っていた。



9/7 ソテツ 元々は九州以南に自生している、ヤシの木のような植物。樹冠から大きな雌花を咲かせていた。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「通説と、実際の生きものの生態の違い」

水元かわせみの里の近くには、ソテツという植物が植えられています。元々は九州以南に自生し、見た目はヤシの木のような樹木です。先日、この樹のてっぺんに、まるで玉ねぎのような形をした、大きな雌花(9)が咲いていました。

見た目だけでも不思議な形ですが、ソテツの花は「10年に一度しか咲かない」と言われ、見られると縁起が良い、とまでされています。しかし、図鑑で調べてみても、開花の周期についての記述は見られず、さらには一昨年、スタッフが羽のような葉や種子を確認しています。つまり、少なくとも水元かわせみの里近くのソテツに関しては、10年を空けず開花していたことになります。

一説によると、生えはじめ、大きく成長するまでの十数年は、確かに花を咲かせないようなのですが、その後は2～3年に一度、または2年連続で花を咲かせたりすることもあるようです。確証があるわけではありませんが、もしかしら、その年の気候や土壌の栄養状態などが、開花に影響するのかも知れません。

生きものの生態は、気候や周辺環境、生育状況などによって変わることもあります。図鑑の情報や通説も参考になりますが、自身の日頃の観察結果も、大事な情報の一つですね。(小林)



ボランティア活動報告

第9回「かわせみフェスティバル」を開催しました！

9月10日(日)に、9回目となる水元かわせみの里のビッグイベント「かわせみフェスティバル」を開催しました。ボランティアをはじめ、水元地域を中心として外部団体の方々にも出展協力をいただき、当日は来場者995人という、過去最大の盛り上がりを見せたイベントとなりました！



キッズボランティアは、わくわく生きもの園で生きものの解説を行いました。



ボランティアは、クラフトコーナーで参加者のサポートを行いました。



カワセミのエコデコイ作りも大人気！当日は完売御礼となりました。



昔遊びコーナーではボランティアがお手本を見せ、参加者に昔遊びを楽しんでもらいました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 9月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

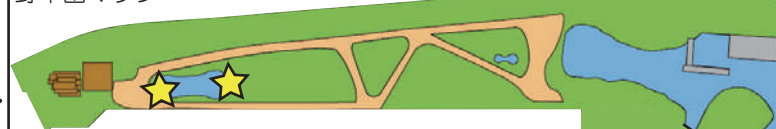
9月の見頃

タコノアシ

穂先に花がタコの足の吸盤のように並んで咲くので、この名前が付けました。果実が熟すと全体が赤茶色に染まり、ますますタコの足のように見えます。河川や池、水田などの水辺に自生する草本ですが、近年では生息域となる水辺が減少し、環境省RLでは“絶滅危惧Ⅱ類”に分類される草本の一種です。



野草園マップ



見られるポイントはココ！